

SANTECH

No.010
2020.01



社長新年あいさつ
第74期経営方針
クリスマスパーティ
海外工場だより
職場紹介
子育てママ

絆
kizuna

～今年は庚子年 改め・始める年です～



代表取締役社長
阪口 善樹



新年、あけまして、おめでとうございます。今年の干支は庚子(かのえね)です。様々な説はありますが、この干支は、庚(かのえ)が「改める」を、子が「増える、始める」を意味するようで、全体としては「様々なことが変わる局面(年)」というのがもっともシックリ合うように思います。実際、前回の庚子(1960年)は、日米安保条約が改められ、当時の日本国内は大揺れとなりましたが、歴史的にも日本が変わった局面であったことは確かだと思えます。また、世界的にもアフリカで多くの国が植民地支配から独立して、アフリカの年と呼ばれています。さらに、今上天皇がお生まれになった年でもありました。

では、2020年のウチの会社はどうか?というのと、新しい年に「改めたい」ことは、まず安全です。昨年は大きな事故をおこしてしまいました。朝会社に働きに来た人が、そのままの姿で夜帰宅するのは当たり前です。これを例外なく全ての社員で全ての日で当たり前にしたいです。次に、利益体質の改善です。2020年はほとんどの会社にとって楽な年ではありません。でも、人も楽しんでばかりだと成長しないのと同様、会社も楽な年ばかりではレベルアップしません。このような年を通じて、今までの常識を改めて、利益体質を改善したいです。

一方、「増やしたい、始めたい」ことでは、まず羽曳野第七工場の操業開始です。ウチが鍛造に特化したのは60年ちょっと前からですが、ウチの集大成とも言える設備や生産方法が取り入れられており、今後の旗艦工場に成長することを期待します。また、駆動部品(ヨーク)の本格量産も、重要な「始める」ことの一つと考えています。今まで鍛造してきたベアリング類やギア類のような回転体形状からはかけ離れた、ウチでは全く新しい形状の製品です。昨年はチョット苦勞しましたが、今後の製品の幅(=お客様の幅)を大きく広げる可能性のある製品(技術)と期待しています。さらに、高压ガス容器では、昨年度認可申請した高耐久の蓄圧器で水素ステーション用の蓄圧器を増やすとともに、航空宇宙分野や水素でも今までやっていなかった産業車両分野を始め、事業分野・得意分野を広げたいと考えています。

このように、今年「庚子」で、「改める」と「増やす・始める」がたくさんあります。今年が実り多き年になりますように、皆様の一層のご協力をお願いします。本年も宜しくお願い致します。

第74期経営方針



専務取締役
阪口 直樹

皆さん明けましておめでとうございます。年末年始はゆっくりできましたでしょうか？小生は、久しぶりに家族5人揃ってゆっくりした正月でした。何時でも休みは大歓迎です！少々短すぎた位です。

今年も73期の振返りと74期の方針を説明させていただきます。73期は簡単に言うと受注減、為替差損(\$/€)、スクラップ安と減収となってしまった事に加え、増産に備えた人員増、投資による償却増とコスト高にもなってしまい、減収減益の期となってしまいましたが、当社初！の技術開発があったり、金型生産工程変更による原価低減ができたりと皆さんの努力による収穫もあった年となりました！

また、新入社員教育も軌道に乗って来ており、5年前と比べると確実に短期で戦力になってきている！各製造現場、サークル活動、等若い世代の活躍が目立った。嬉しい限りだ。



SAMTECH THAILAND

見事に全員完走

2019年11月3日、早朝五時のバンコク(タイの首都)の街中を疾走する者たちがいました。

この日開催されたのは“Triam Udom Half Marathon 2019”バンコクの中心部に設定されたコースを走るマラソン大会です。この大会に、以前に社内報にも掲載していただいたサムテックタイランドランニングクラブの面々と阪口直樹専務(サムテックタイランド社長)がエントリーしました。

今、タイは空前のマラソンブームで、朝・夕の公園では多くの市民ランナー達が走っている姿を目にします。また、毎週のように各地でミニマラソンの大会が開催されていて、多くのランナーが健脚を競っています。

サムテックタイランドランニングクラブも徐々にメンバーが増え、現在約三十名の社員が参加。それぞれ年に二回~四回の大会に出場しています。今回の大会は、直樹専務が人生初のマラソン大会出場。しかも、それが異国の地での大会ということで、一緒に完走を目指そうとマネージャーと通訳の面々が集結。見事に全員完走し、達成感と喜びを分かち合うことが出来ました・・・!

直樹専務の走りは、とても初マラソンとは思えない軽快な走りっぷりで一時間二十七分(10.5kmの部)という好タイムでゴールイン。鮮烈なマラソンデビューとなりました。

日本でもランニングクラブの立ち上げが加速しそうです!ちなみに今年開催される東京オリンピックのマラソン競技でも問題になっていますが、タイも常夏の国であるため日中は気温が上昇してマラソンには厳しい気候になります。そのため各大会のスタート時間は夜中や早朝に設定されています。

次のエントリーはハーフマラソンでしょうか?乞うご期待です。

管理部 異 要啓



習慣の違いを超え、新しい文化を

メキシコ工場、通訳の鈴木です。サムテック・メキシコ工場建設中だった2017年11月20日先発グループとしてレオン入りしました。当初、メキシコ人スタッフは一人もおらず仮のトレーラーハウスで数人の日本人だけでのスタートでした。また、メキシコ工場が位置する PILBA工業団地はインフラの整備が全くされていない状況(上下水道、電気も敷設されておらず、道路も舗装されていない状態)でした。現在では、工業団地には立派なメインゲートが設置され、インフラも整い、サムテックの工場にも立派な管理棟と工場が建ち、40人近い従業員が BUENOS DIAS! と挨拶を交わす活気ある光景が日常となっています。そんな日常ですが何もなかった当時を思い出し、感慨深いものを感じます。

さて、メキシコ工場通訳は、平川さんと私の二人で日本人とメキシコ人との会話を繋ぐ役割を担っています。政治、経済、文化、宗教・・・など様々な違いから、全く違った考え方をすることもある両者。また、異なる言語を話す日本人とメキシコ人にはありますが、通訳を介しコミュニケーションを積極的に取り、少しずつ理解し近づいていくことのお役に立てればと日々奮闘しております。

例えば、日本であれば、遅刻や欠勤の連絡は始業前に会社へ連絡を入れることが常識です。しかし、メキシコではそういう常識がないために、理解を得るまでに時間を要することもあります。日本人の常識がメキシコ人の常識とはいかないのが難しいところではありますが、メキシコ人のそれぞれの状況に寄り添いながらもスムーズな業務遂行のためにも連絡の必要性を日本人として訴えていければと思います。

私自身、製造業で長年通訳をして参りましたが、鍛造品の製造工程は、管理する項目が多岐に渡り、寸法精度も高く、経験のいる高度な技術が要求されると感じております。製造部のメキシコ人従業員への技術伝授には通訳や翻訳が不可欠ではありますが、私は鍛造に関してまだ知識不足の所が多々ありご迷惑をかけています。日々の通訳や翻訳を通して不足しているところを補い通訳の精度の向上に努めています。

毎月行っている従業員誕生日のお祝いと資格認定取得の際には、昼食に特別メニューを提供していますが、社内イベントの中では、職場での部署、役職、国籍を超えて陽気なメキシコ人が様々なイベントを盛り上げてくれており、メキシコ人のパワーを感じます。メキシコ工場は 人に例えるならば、歩みを覚えたばかりの子供と言えるでしょう。今後、成長し立派な大人となるまでには様々な試練が訪れるかもしれません。その試練が訪れた際には メキシコ人がいつもイベントで見せてくれる持ち前のメキシコパワーで日本人と共に工場を支えてくれると確信しています。私自身、日墨両国の狭間にたつ者としてサムテックの伝統とメキシコの特徴を生かしたこの工場の新しい文化の形成のお役に立てればと思っています。

鈴木 雅昭



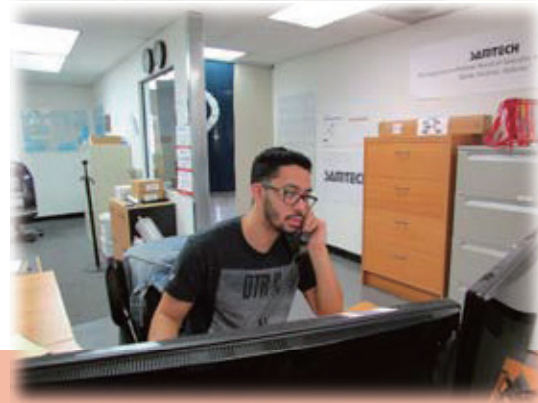
SII 営業部の紹介

明けましておめでとうございます。

サムテックインターナショナル(SII) Kayと申します。山本さんのもと、アルベルトさん、ジェイミーさんと一緒に営業部の一員として日々忙しく過ごしております。

SIIは南カリフォルニアらしく、アメリカと日本とアジアの国々とメキシコと、、、いろいろな文化が集まりそれぞれの個性を出しながらも一つにまとまっているサラダボールの会社です。アメリカの航空宇宙産業にも貢献しているとても優れた会社ですが、会社の規模としては製造部門の方々をいれても40人弱、オフィスエリアにいるのはそのうち10名ほどというとても小さな所帯です。ですから営業部といっても営業以外のお仕事も多く多岐にわたり、営業部のメンバーに限らず誰もが広い守備範囲をもっています。個人主義が当たり前&個人の職務範疇以外のことは手を出さないアメリカ社会において、実に「アメリカ的」ではありません。しかしながら私はこのお互いに協力しあう SIIの文化をととても好ましく思っております。

さて、日本の皆さんはお正月を堪能されましたでしょうか。日本では歳神様をお迎えすべく年末からいろいろと準備をし、大掃除をしてお節料理を用意して、初詣に行き、家族も集まって多分一年の内でも格別な時期だと思いますが、アメリカで New Yearは文字通り単に新しい年の始まり、一応 New Year's Eveのお祭り騒ぎはありますが、12月から1月になるというだけでこれといった特別性はありません。その前のクリスマスやサンクスギビングに重きが置かれ、家族が集まってお祝いするのでその時期に休暇を取る人も多く、会社も連休にしたりするところがあります。1月は2日から普通にお仕事です。長くこちらにしていると、新年を迎える厳粛な気持ちがあられていくようで少し寂しい気がいたします。



昨年は大きなお客様が一つなくなってしまったこともあり、会社にとって厳しい1年となりましたが、ホリデーシーズンを経て新たな英気を養い、2020年は更により高い品質とサービスをお客様に提供するとともに会社自体も利益が生み出せるよう一丸となって頑張りたいと思います。

最後になりましたが、いつもいろいろと支援してくださる本社に感謝の意を申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

職場紹介

お客様の納期と生産性を第一に考え

営業部

生産管理課 吉村 壽晃



私たち生産管理課は、男性8名、女性2名で業務を行っています。今期7月19日付で待望の新人(身長180cm超えの文字通り大型新人)が加入し、新しい体制となりました。業務内容としては、営業課から発信される受注情報を元に

熱間鍛造計画を立案し、計画に合わせたジャストインタイムな鋼材手配を行っています。また、異材に直結する為一字一句間違ふことが許されない製造指図書を発行しており、その重責から課員も神経を擦り減らしながら日々業務を行っています。

その他の業務としては、後工程(冷間鍛造、フローフォーミング、ハブ旋削、冷間サイジング)の計画立案や、バレット集計の管理、直行不能品集計の管理等、多種多様な範囲の管理を行っています。職場の雰囲気はとても明るく、課員同士コミュニケーションを取りながら慌ただしい日常の中でメリハリを付けて業務を遂行しています。

来期は第7工場も建設され、更に管理するラインも増えて行きます。今まで以上に業務効率を考え、お客様の納期に合わせた生産計画が行えるように課員一丸となって業務にあたります。



職場紹介

高圧ガス容器部

高圧容器部 内本亮介



▲筆者

高圧ガス容器部では、アルミライナーと炭素繊維強化プラスチックから構成されるタイプ3と呼ばれる複合容器を開発、製造、販売を一貫して行っており、主に水素ステーションに設置されている蓄圧器用途として使用頂いています。工場にはアルミ

ライナーの塑性加工や炭素繊維を巻く設備等が有り、営業 法規設計 技術 製造 品証の各エキスパートがいます。

水素ステーションの建設は、国の補助金事業になっており、主に予算が決まる4月以降から事業者の公募が始まり、その後工事

事業者、設備機器メーカーが決まります。我々が受注するのは5月~6月頃で、その後容器の生産を行い、9月末~11月にかけて納品が集中します。各社から一斉に発注を頂き、同じ時期に納品を希望されますので、その期間は現場がかなり慌ただしくなります。また、水素 ST以外の分野でも高圧容器を色々な用途で複合容器に使ってもらう活動をしています。現在は特に受託試験や、航空宇宙関係、自動車などのモビリティ関係の分野にも注力しています。

今年オリンピックイヤーの年です。水素エネルギーが国内外から更に注目を受けることが予想されますので色々な分野のお客様と接することが多くなると思います。水素社会の普及に貢献出来るよう、又会社にも貢献出来るよう、一枚岩になって頑張っていきたいと思っています。



配属一年後の思い

常に学ぶ姿勢を忘れずに

保全課 吉仲 優貴



研修を終えて、配属されてから1年が過ぎました。配属された当初と1年経過した現在を比べると大幅にわかることやできることも増えましたが、できないことやわからないこともまだまだ沢山あります。

保全課の業務の性質上、新規設備などを導入するたびに新しく覚えることも増えていき、常に学び続けることが必要な仕事だと感じています。

常に学ぶ姿勢を忘れずに技術・知識を習得していき、設備故障の低減・トラブル対応時間の短縮をし、最終的には設備トラブルによる停止時間を0にできるように頑張っていきたいと思います。

気を抜かずに安全第一で

金型課 高倉 慎平



配属されてから1年が経ってみて最初の頃は、分からない事やミスすることが多く毎日大変でしたが、色々な仕事を覚えてきて課内の方々とコミュニケーションをとれるようになり、楽しいと感じることが多くなってきました。

この1年間は毎日必死だったので一瞬で時間が過ぎた気がします。これからも気を抜かずに安全第一でがんばっていきます。

様々な問題に新しいアイデアを

第一技術課 片山英太郎



配属されてから1年が経ちました。現在は新工場で導入される設備設計に携わるようになり、ダイセットやトランスファービームの図面を作成しています。また少しずつではありますが、IoTに関するシステムを導入していく等、従来の技術課の業務とは異なる仕事が多く、より自分の仕事に重みを感じる場面が増えたように感じます。この経験を活かし、今後は設備やBIGデータといった広い視野からも様々な問題に対して新しいアイデアを出していけるよう精進していきたいと思います。

失敗や経験を忘れず日々成長

第一技術課 木村 悠里



配属された直後はわからないことばかりで一つの仕事をやり遂げるだけでも精一杯でしたが、一年経った今では出来ることが徐々に増え、やりがいや責任を感じるが多くなりました。

しかし、至らない点が多々あり課内の先輩をはじめ他部署の方々に迷惑をかけてしまうこともありました。

その失敗や経験を忘れずにもっと責任感をもって取り組み、これからも多くの方々から色々なことを吸収して日々成長していけるように頑張ります。

一日も早く戦力に

第三製造課 森田 大真



第三製造課に配属され1年が過ぎました。配属された当初は覚えることが多くで大変でした。しかし、徐々にできる仕事が増え、ほとんどの仕事ができるようになりました。

まだまだ、学ぶことがあります先輩に様々なことを教えて貰い一日でも早く仕事を覚えて戦力になれるように頑張ります。

今後の抱負は、まず、自分のラインのことは全て出来るようになること。まだ、プレス操作は完璧には出来ないなので、プレス操作の時間を増やしてスムーズにできるようになりたい。後輩にライン作業のことを教えながらなので大変ですが一つ一つクリアしていきます。

仲間から頼られ、良識ある社会人に



品質保証部
越智 和起

今年で20歳になり世人しました。少しずつですが仕事の幅も増えていき、自分自身成長していると実感しています。

しかし、まだまだ至らない点多々ありご迷惑をおかけしています。今後はもっとスキルや知識を高めていき、仲間から頼られるよう努力していきます。また、良識ある社会人になれるように精進していきます。

責任を持って



金型課
今西 弘

今年で20歳になり、喫煙や飲酒ができるようになり改めて大人になったのだと思いました。その分、今までと違い責任も大きくなってきます。

人生の一つの節目を迎え「当たり前」の事を当たり前にする」を目標に決めこれから頑張っていきます。

失敗を教訓に



第二製造部
山田 雅也

今年、成人式を迎えました。今まで育ててくれた両親や支えてくれた友人、周囲の人たちに感謝しています。

入社して1年半が過ぎ、できる仕事も増えてきましたが、失敗も多く経験しました。これからも今まで経験した失敗を教訓に、同じ失敗を起こさない立派な成人になれるように多くの知識と技術を身に付け成長していきます。

親に感謝、安全第一で



第三製造課
市 大輝

今年成人になって思ったことは、やっと成人になれたという嬉しい気持ちがあります。成人になるまで親に沢山迷惑をかけたか、支えてもらったりしてきたので、これからは僕が親にしてもらったことをしていけたらいいと思います。

仕事面では最近大きな事故を起こし手術をしました。今では回復していますが、今後、このようなことを二度と起こさないよう安全第一で仕事をしていきます。

成人の思い

自分の行動に責任を持つ



第二製造部
大岩 和弘

まだ、実感はわかりませんが今年で成人になりました。未成年ではなくなり、これからは自分で責任を持たなければいけないという不安もありますが、自分の行動に責任を持てる人間になれるように頑張ります。

また、配属されて1年が経ちできる仕事も増えましたが、まだまだできない仕事も沢山あるので毎日少しずつ覚え、一人で仕事をまかせられる人になるように頑張ります。

両親に感謝し、人として恥じない大人に



第二製造部
森脇 溜哉

成人式を迎え、未成年から成人になり大人の仲間入りになります。ここまで育ててくれた両親に感謝の気持ちでいっぱいです。両親のように人として恥じない大人になれるように、努力を忘れず一生懸命頑張っていきたいと思えます。

今後は、今まで以上に社会人としての責任・自覚を持って行動することを心がけて仕事に取り組み、早く先輩方のように仕事ができるように頑張っていきたいと思えます。

一日も早く戦力に



第二製造課
大坪 真士

今年から成人になり昨年までの未成年とは違い社会人、大人としての責任を感じています。職場に配属され1年になりますが、先輩や上司の指導で仕事も徐々に覚えてきました。

まだまだ半人前で覚えなければいけないことが沢山ありますが、スキルアップに努め安全第一で仕事に取り組み一日でも早く一人前の戦力になれるように頑張ります。

両親に感謝し、自覚と責任を持って行動



第二製造部
竹井 拓弥

二十歳の節目を迎え、無事成人することができました。成人になり、今まで育ててくれた両親をはじめお世話になった方々に感謝し、少しでも恩返しをしていきたいと思えます。

これからは、成人として自覚と責任を持って行動できるよう心掛けていきます。入社2年目となり、今は旋削ラインで作業していますが、新規ラインでこれから忙しくなると思うので頑張っていきます。

新入社員オブザイヤー

体調を整え万全の状態



近畿職業能力開発大学校から今年4月に入社しました原田大地と申します。

入社してからの3か月間は、新入社員研修で部署ごとの仕事内容や、安全、サムテックについて学びました。その中での現場研修では、色んな部署を周ったことによってどのように製品が作られて出荷されるのかが分かり、あまり理解できていなかった熱間鍛造について勉強する良い機会になりました。あと、気軽に喋ってくれる方が多かったので楽しく作業することができました。

そして、長かった研修も終わり今は工機工場で働いています。今は万能フライスという主に縦か横向きで加工する機械をメインに仕事をしています。今まで知らなかったことを知れ、楽しい人が多い部署なので毎日楽しくやれています。

まだまだ難しいが多く出来ないこともたくさんありますが、結果を出せるよう毎日早寝早起きで生活リズムを整えて万全の状態でおもいきり仕事に取り組もうと思っています。誰よりも正確に作業ができるようになる自信はありますが、まだ始まったばかりなので温かい目で見守ってください。これからもよろしくお願いします。

工機工場 原田 大地



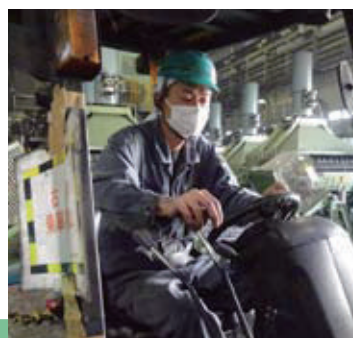
第71回 サークル改善事例発表会

第71回サークル改善事例発表会は11月9日(土) 柏原市民会館リビエール小ホールで開催され、32サークルの予選を勝ち抜いた8サークルによる本選発表会が行われました。

どのサークルも素晴らしい内容で甲乙つけがたい内容でしたが、審査の結果「黒帯」サークルが1位に輝きました。おめでとうございます。全サークルの結果は次の通りです。

- 1位 黒帯サークル(リーダー三村) テーマ: 羽曳野第四工場検査係
におけるハブ自動検査機の新品番の追加に向けて
- 2位 HOPEサークル(リーダー藤林) テーマ: T1600ラインにおける不良率の低減
- 3位 ダイセットサークル(リーダー鶴木) テーマ: ダイセット補修工程における加工時間削減

努力賞 フルドライブサークル 第六検査サークル プレシャストライサークル HOZENサークル Dreamサークル



子育てと家事時々ゴルフ

私と主人は幼馴染で20歳で結婚し長男を授かりました。21歳で母親となり、慣れない子育てと家事で毎日忙しく奮闘していたのを憶えています。その5年後には次男、その2年後には三男が誕生し、パワフルな男3兄弟となりました。男の子はとにかくパワフルで遊び方も荒いですが、とても大好きな3人です。毎日毎日家の中がひっくり返し、足の踏み場も無いくらいにおもちゃ箱をひっくり返しおもちゃが散乱し、よくおもちゃを踏みました。3兄弟はたまに喧嘩する事もありますが、基本的には仲良しで、ゲームやYouTubeなどで盛り上がっています。

今では長男が中学2年生 次男小学3年生 三男が小学1年生になり子育てもひと段落しました。その事もあり、以前から興味があったゴルフを始める事になり主人も昔からゴルフをしていたこともあり、いろいろと教えてもらいながらコースやテレビでゴルフ鑑賞を夫婦で楽しんでいます。子供たちの庭も今では夫婦の練習場となっています。いつか家族そろってコースデビューを目指し、これからも仲の良い家族でありたい願っています。



第三製造課 祖開 義敬・恵

優しい言葉に癒され幸せを感じる

営業部 業務課 吉川 典子

私には13歳の長男、4歳の長女がいます。仕事と子育てで忙しく家事に追われていると子供にDVD見せている間に料理、家事をしながらの子供との会話になりがちですが毎日、就寝前には100%子供との時間を作り数十分ですが子供の好きな本を読んだり、目を見てその日の出来事を聞いたりスキンシップしたりしています。

土曜日、日曜日は子供たちと思い切り遊んだりしていますが、最近では長男と一緒に出掛けることが少なくなりスキンシップも嫌がるようになり反抗期真っ只中です。寂しく感じることもあるけれど「いつも仕事頑張ってるやん、大変やな」と優しい言葉もかけてくれます。(癒されます)

子供たちと過ごす時間を大切に！日々の成長に幸せを感じて、今日も仕事に子育てに頑張ろう！



途中雷で中断も全員無事ホールアウト

第36回サムテック社長杯ゴルフは、グランデージゴルフクラブで10月19日お客様、仕入先様をお招きし、社員と合わせ102名の参加で開催されました。

当日は、前日の雨も上がり曇り空ながらイースト、ノース、ウエストの3コースに分かれスタートしました。途中から小雨がぱらつき、ついには雷によりプレーが一時中断になりましたが、昼休憩をはさみ天候も少し回復し再スタートしていきました。

再スタート後は、調子が上がった人、調子が戻らなかった人それぞれでしたが全員無事、最終ホールまでプレーすることができました。

優勝者はU.Mでした。

優勝者コメント「本日は三重県から参加させていただきました。今日は、御社の専務さんと一緒に、良い緊張感を持ってラウンドしたことがスコアにつながったと思います。来年はベストグロスを目指して頑張りたいと思います。ありがとうございました」。



順位	競技者名	ノース	ウエスト	イースト	GR	HD	NET
優勝	U.M	46	38		84	15.6	68.4
準優勝	S.M	47	44		91	19.2	71.8
3位	Y.S		52	49	101	28.8	72.2
4位	F.A		37	45	82	9.6	72.4
5位	Y.A	44		48	92	19.2	72.8
6位	H.T	42	40		82	8.4	73.6
7位	K.S	49	43		92	18	74
8位	H.K	47		52	99	24	75
9位	M.K		49	50	99	24	75
10位	T.S		46	45	91	15.6	75.4



表紙の一言「子年金員集合」

2020年の干支は庚子(かのえね)です。

庚子の状態を人間や組織に当てはめると、「庚は完成した個人・組織から不要な価値観をそぎ落とし新しい環境へ対応する体制を整える年。」

子は「個人は自分の軸となる価値観をしっかりと持つ、組織は新たな環境や局面に向けて対応できる人材の育成・活用に取り組む年」だそうです。

つまり過去の成果から引き継ぐものを維持しつつ新たな環境や局面に向けて体制を整えていく良い年だという意味です。そういったことを念頭に置きながら今年1年サムテックが成長できる良い年にしていきたいと思います。

高圧ガス容器部製造課長兼営業課長 張田 一成



第4回 サムテックカートGP



第一技術課岩鶴さん2連覇

第4回サムテックカートグランプリは10月20日、53名の社員が参加しスポーツカート阪奈で行われました。

当日は曇りで怪しかったのですが気候的には絶好のカート日和でした。

今年もタイムアタックで個人戦を行ったあと、チーム対抗の1時間耐久レースを2回行いました。

まず個人戦で優勝したのは、昨年1位の第一技術課岩鶴さん、学生時代からレースで培ったドライビング技術は本物でした！2連覇達成おめでとうございます★★★



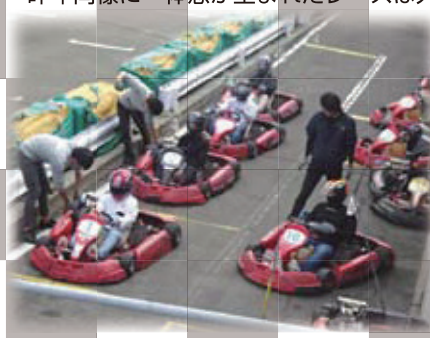
チーム対抗1時間耐久レースでは、参加者がAからJの10チームに分かれ自己紹介から始まり作戦会議！1台のカートでドライバーを交代しながら1時間走り続ける耐久レースでした。

昨年同様に一体感が生まれたレースは大盛り上がりであったという間に2時間が終了しました。

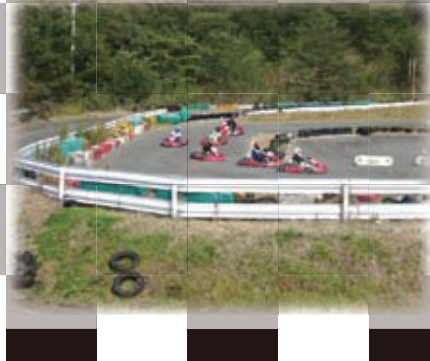
ただ、残念なのは今回、初めて事故が発生しました。



今年も色々な部署の混合チームで一体感が生まれ今まで話をした事が無かった人とも話すいい機会であり、それが今後の仕事にも活かせると思います。



次回の開催は、違った内容でも他部署混合で協力して行う事を企画、実施し従業員のコミュニケーションを取れる様に考えていきます。



従業員会代表 佐々木 健太



発行10号を迎え

皆様、あけましておめでとうございます。
創業100周年を迎えた2014年1月、サムテック社内報が復刊しました。それから早や6年、めでたく第

10号を発行する運びとなりました。

社内報の「絆」は第1号を発行する時に従業員の方から愛称を募集し、応募作品の中から従業員やそのご家族との「心の繋がりや強い信頼関係」を繋げていく情報共有の場となるように、との思いを込め採用されています。

第1号は12ページの紙面でスタートしましたが、発行回数を重ねるごとに記事の内容も充実してきました。同時に、従業員だけではなくご家族の方々にも参加していただき、投稿記事も増え、皆様から愛される社内報になってきたと思っております。

これからも従業員同士の、またご家族の方々との絆も深め、多くの情報を提供できる、より愛される社内報づくりに皆様と一緒に歩いていきたいと思っております。是非とも積極的なご参加、ご協力をお願いします。

最後になりますが、本号から編集委員が交代になります。第1号から9号まで5年間にわたりご協力いただき、ありがとうございました。

退任編集委員：秋田直美 馬越泉 真銅美奈子 高橋和也 田中慎一（敬称略、50音順）



今年一年を振り返り

2019年サムテック設立70周年記念パーティーはが参加されシェラトン都ホテル浪速の間で開催され、最初に役員の方々へ花束の贈呈、鏡開きと70周年職員によるピアノ演奏、餅つきがあり、恒例の福引USJペアチケット、有名料亭でのお食事券など70周りがりでした。

また、11月27日に BS11で放映されたサムテックにおける社員、家族の方々への感謝のお言葉があり、までも多くの苦難を力を合わせて乗り越えてきました。なり乗り越えましょう。』との挨拶がありました。

準備に当たられた職員の皆様、ありがとうございました。で楽しめたらよいですね。

2019年 サムテック株式会社 設立70周年記念パーティー



私自身にとっては久しぶりの、娘にとっては初めてのクリスマスパーティーでした。

子供が居るとなかなかホテルでの食事や、たくさんのイベントをゆっくり体験させてもらえる機会が少ないので、とても貴重な時間を過ごせさせていただきました。

内容が盛り沢山で、サムテックがどういう会社で、どのようなことを目指しているのか、普段知ることのできない一面も知ることができました。春祭りにクリスマスパーティー。家族みんなで参加できるイベントが年2回もあって、どちらも家族の笑顔溢れる素敵なイベント。次回も楽しみにしています。

工機工場 鷗木 奉生・彩乃

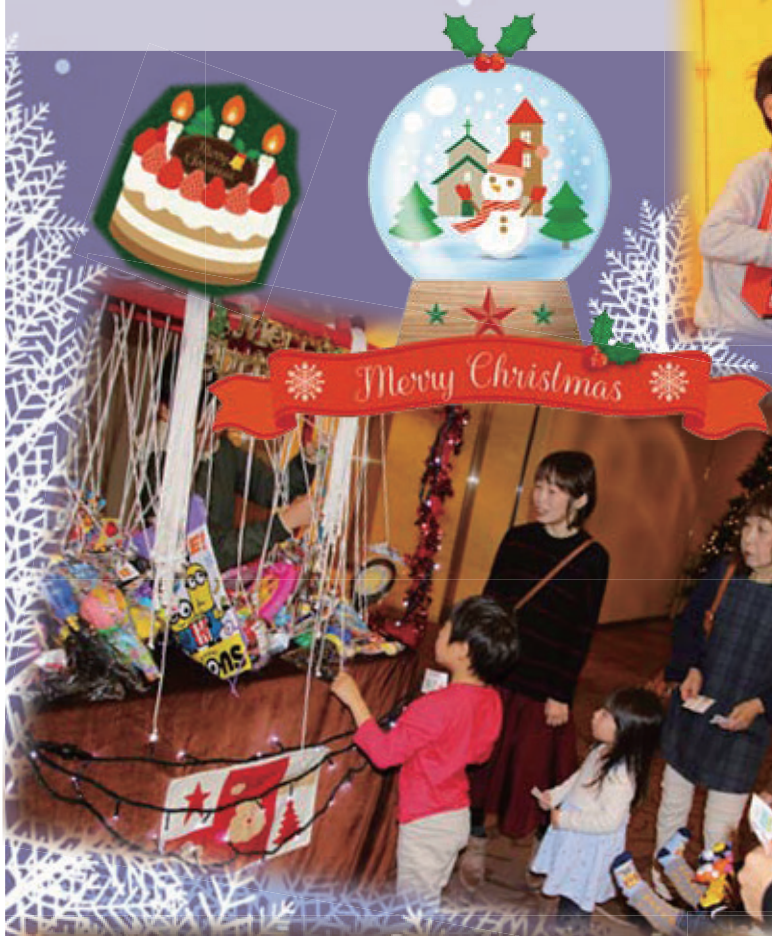
家族も一緒に楽しむ

12月8日(日)に社員とご家族を含め約470名の方
ました。

を記念したイベントに始まりスリル満点の大道芸、
では役員との豪華ディナー券、任天堂スイッチや
年パーティーならではの豪華景品に開場は大変な盛

クの紹介 VTRを鑑賞の後、阪口社長より、73期に
そして『74期は厳しい年になると思いますが、これ
た。不景気も必ず終わりがある。サムテック丸と

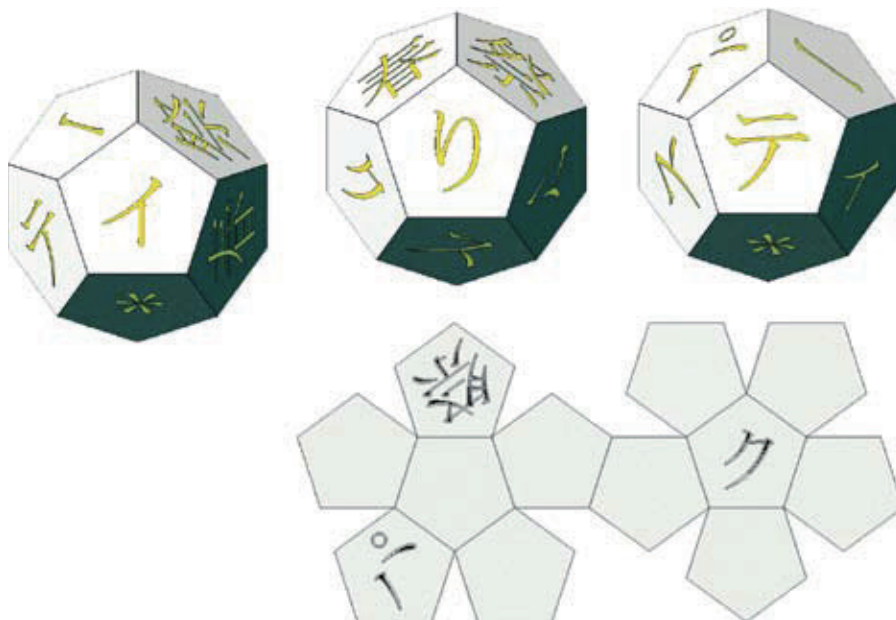
ました。また来年のクリスマスパーティーも皆さん



クイズシリーズ No.10



立体図をもとに、展開図の空いているところに正しく文字を書き入れていこう。
文字の向きにも注意してね！



クイズ用紙をコピーし裏面に職場指名を記入して
経営企画室：安田まで送ってください。

締切日：1月28日（金）

正解者の中から10名様に景品を差し上げます。
前回より少し難しくなっているかも。頑張って解いてください。

編集後記

あけましておめでとうございます。
社内報は発刊10号を迎え今回から編集委員が交代し、新しいメンバーでの編集作業になりました。初めての作業で若干手間取りましたが、予定通り発刊することができました。紙面作りにご協力していただいた皆様ありがとうございました。次号もご協力よろしくお願いします。

編集委員

阪口竜弥常務(発行責任者)
元山貴文 福永健司 片山英太郎
澤田拓未 島添百花 金谷千海
小山博士 安田萬蔵

SANTECH

サムテック株式会社

〒582-0027 大阪府柏原市円明町1000番18 TEL(072)-977-8851 FAX(072)-977-8854